

公表

## 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	あけぼのミンタラ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月22日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年1月22日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月22日		～ 令和8年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	系列の認定こども園が訪問先の多くを占めるため、園の職員との連携を図りやすい。	普段から園とのやりとりは大切にしており、園でしていることを聞き取って児童発達支援事業所に伝えたり、児童発達支援事業所でできたことを園に伝えることで、子どもたちへのより良い支援を行っている。	クラスの担任と話し合える時間を作ることで、園での困りごとや子どもたちの特性を共有することで、より良い支援につなげていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員としての経験が浅い。	今年スタートした事業で、保育・療育としての経験は長いが訪問支援員として始めて携わった職員のため、訪問先との連携や保護者へのより良いアウトプットの方法を現在模索中です。	園との関係をさらに密接にし外部の研修や事業所内での研修に参加することで、職員のスキルをアップさせていく。
2			
3			